

【協会の目的／使命】
(Mission)

(定款)

会員の健全な発達を図り、もって公共の利益を増進すること。



会員行のお役に立ち

+

(それを通じて)

社会のお役に立つ

【協会のありたい姿 (Vision)】

(会員行に対して)

協会は、会員行の経営課題に関して、3つのコア機能を発揮し、会員行に貢献する。

1. 情報のハブ機能【注】
2. 実務の支援機能
3. 人材の育成支援機能

【注】 会員行・協会・当局・外部専門家等のネットワークの拡充・深化を通じ、協会がハブとして、情報を収集・分析した上で、会員行が必要とする情報や意見交換等の場の提供を行うこと。

(社会に対して)

協会は、会員行の取組みの支援を通じて、地域の企業の成長支援や金融サービスの利便性向上等に努め、地域社会の発展に貢献する。

【会員行の経営環境】

①経済・金融環境

- ・内外の原材料高や供給制約による地元企業への影響深刻化
- ・世界的インフレ懸念による内外金利環境の変化
- ・金融機関経営における各種リスクの顕現化
- ・コロナによる地域経済の構造問題(人口減少、市場縮小)の加速化

②ステークホルダーによる期待

- ・経営の持続可能性
- ・経営のパーパスの明確化
- ・社内外取締役の機能強化
- ・DX、GXの具体化
- ・働き方改革

③金融行政等

- ・ステークホルダーの期待に応えるガバナンス改革の後押し
- ・コロナ後の金融仲介機能の発揮の後押し
- ・経済・金融環境の変化を踏まえたリスク管理態勢の強化
- ・政府系金融機関との連携(事業再生支援等)

【会員行の経営課題に対する協会の取組み方針】

今後の環境変化、多様化する会員行の課題に応じ、以下の7つの柱に即して、会員行への情報提供、会員行間の意見交換等を促すメリハリの効いた協会事業に取り組む。

①ガバナンスの強化

- － パーパス経営
- － 経営の多様性を促すマネジメント
- － TCFD対応の充実

②人材育成

- － 経営人材
- － DX、GX人材
- － 多様化に資するマネジメント人材

③経営基盤の強化

- － パーパスに基づく業務改革
- － 外部企業との連携強化
- － 規制緩和の有効活用

④金融仲介機能の強化

- － トランジションへの対応
- (様々な環境変化に合わせた地域・企業の再生支援等)

⑤経営管理態勢等の強化

- － 信用・市場リスク管理態勢
- － サイバーリスク管理態勢
- － AML/CFIT管理態勢

⑥金融行政等への対応

- － 金融庁・日銀等とのリレーション
- － 全銀協等とのリレーション
- － 政府系金融機関とのリレーション

⑦協会事務局のトランジション

- － 持続可能性に資する事業の見直し等(DX活用、応益負担化、共同事業見直し、職員育成、危機管理)
- － 協会収益の多様化